

平成30年 第1回臨時会における主な議案質疑

(9月10日開催)

議案第47号

平成30年度かすみがうら市一般会計補正予算(第3号)

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ698万9000円を追加し、総額を167億5879万6000円とするものです。シティプロモーション事業、歩崎公園管理運営事業などを計上するものです。

Q シティプロモーション事業548万9000円の内容は

A 市の公式キャラクターの公募費用、キャラクター活用に係るデザインガイドラインの策定費用、キャラクター紹介ホームページの構築費用、キャラクターの普及啓発キャンペーンの企画・運営費用。また、ノベルティグッズの作成などを行うものです。



▲市公式キャラクター募集のインターネットホームページ



▲改築工事中のトイレ(歩崎公園)

Q 歩崎公園トイレ改築工事監理業務委託に150万円計上されているが市役所職員ではできないのか

A 専門的な職員がいないこともありますが、国からの補助金を受けらるうえで、工事内容に特殊性もあり、工事監理業務委託の必要性を国から指摘されていることから予算計上するものです。

平成30年 第3回定例会 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(9月10日開催)

議案審査特別委員会は15名の委員で構成

議案第48号

平成30年度かすみがうら市一般会計補正予算(第4号)

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に7025万7000円を追加し、総額を168億2905万3000円とするものです。主なものとして生活保護総務事業国庫補助金返還、霞台厚生施設組合負担金などを計上するものです。

Q 地域安全対策事業での備品購入費170万円の内容は

A 犯罪が起こりにくい安全・安心のまちづくりを推進するため、防犯カメラを下稲吉中学校地区に2箇所追加設置するものです。



▲防犯カメラ(新治地内)

議案第50号

平成30年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に2860万円を追加し、総額を10億8310万円とするもので、主に管路点検やマンホール設置工事費、下水道接続支援事業費補助金などを計上するものです。

Q 下水道接続支援事業費補助金430万円の内容は

A 県事業で森林湖沼環境税を活用した下水道接続支援事業補助制度の拡充に伴い、新たに下水道に接続される方への補助金などを計上するものです。

請願第3号

政府・国会に核兵器禁止条約の署名・批准を要請する書採択を求める請願

【請願の概要】

「核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用及び威嚇としての使用の禁止ならびにその廃絶に関する条約」に日本政府が署名することを要請する書をかすみがうら市議会で採択及び国に提出することを求めるものです。

本会議で行われた請願第3号を趣旨採択することに対する主な討論

(趣旨採択に) 賛 成	(趣旨採択に) 反 対
<ul style="list-style-type: none">かつて日本は核兵器廃絶決議案などの核軍縮に関する条約に賛成している。核保有国を含む世界諸外国との信頼関係を踏まえ、一方的に賛同することは核保有国との溝を広げ、国は唯一の被爆国として判断をしていると理解するため趣旨採択に賛成。	<ul style="list-style-type: none">核兵器の開発、実験、製造、備蓄、移譲、使用及び威嚇としての使用の禁止ならびにその廃絶に関する条約に日本政府が署名し国会に要請することを求めるもので、政府に要請書を提出しなければ意味がなく、採択とすることを求めて趣旨採択に反対。

請願第4号

日本原電・東海第二原発の廃炉を要請する書採択を求める請願

【請願の概要】

日本原子力発電株式会社に対する「東海第二原子力発電所の廃炉を求める要請書」をかすみがうら市議会で採択し提出することを求めるものです。

本会議、議案審査特別委員会で行われた請願第4号を趣旨採択することに対する主な討論

(趣旨採択に) 賛 成	(趣旨採択に) 反 対
<ul style="list-style-type: none">議会が一民間企業に対して直接働きかけるという行為に疑問を感じるため趣旨採択に賛成。請願の根拠となる本市の非核脱原発平和都市宣言は、当時の市長の判断であり、議会で議論して議決されたものではなく、多くの市民の意見として判断するには根拠に疑問があるため委員長報告のとおり趣旨採択とすることに賛成。火力発電は地球環境にやさしくなく、また原子力技術とそれに係る貴重な人材を大切にしなければならないと考えるため趣旨採択に賛成。	<ul style="list-style-type: none">東海第二原子力発電所は原子力災害事故が起きる危険性、核のごみの問題があり廃炉が必要と考える。趣旨採択では日本原子力発電株式会社に要請書を提出しないことになるため反対。

※趣旨採択とは…願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないといった場合、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法。